

【 果 樹 】

変わらず柑橘類の入荷は少なく、果実全体の入荷量も概ね横ばいで推移している。これまでの高値反動と末端消費の鈍さ等が要因となり、緩慢な荷動きとなっている品目が多い状況。

干し柿類については、量販店の売場は縮小傾向ではあるものの、本県産中心に出荷量も減少していることから、今後は他品目と末端の動向を見ながら、徐々に相場を強める展開となる見通し。

<あんぽ柿>

京浜市場では、仲卸の在庫も少なくなり、過不足のない販売となっている。

関西市場では、量販店の売り場は確保されており、安定して引き合いはある状況となっている。

各市場ともに相場は保合展開の見通し。

「蜂屋柿 230g トレー」 @特秀 4L 380 ~ 350 円

「蜂屋柿 1Kg 化粧箱」 @特秀 3L 1400 ~ 1,300 円

【 野 菜 】

気温が低いまま推移したことから野菜全般の入荷量は引き続き少なく、果菜類・葉菜類中心に2月初旬は高値基調での販売となり月替わりでの販売となったものの落ち着いた荷動きとなった。

量販店では季節感を先取りして春商材の売り場を広げている店舗も見られるが、週末にかけて気温が低下することから、ねぎ・春菊など鍋商材は再度引き合いが強まる見通し。

<いちご>

栃木県産中心に3番果も徐々に増量となり、全体量の増加に伴い、荷動きも徐々に鈍化している状況。ただ、週末に向けての注文はみられており、今後は荷動き優先の販売で相場は保合となる見通し。

@L 450 ~ 430 円 A 380 ~ 350 円

<に ら>

引き続き入荷量は少ない見込みのため、今週後半までは相場は保合となるが、翌週は連休明けで荷動きは鈍化が見込まれることや野菜全般に入荷量はジリジリと増量となるため、相場は弱含みとなる見通し。

@A L 100 円 ~ 90 円

<春 菊>

週末は連日休市に加えて都内でも雪予報が出ていることから葉物類全般引き合いが見られるが、平年よりも高い相場となっていることから、動きを止めないよう相場は弱める販売となる見通し。

@A 130 円 ~ 110 円